

(参考様式4)

事業活用活性化計画目標評価報告書

活性化計画名	秋田スギ活用活性化計画			
計画主体名	計画主体コード	計画番号	計画期間	実施期間
秋田県	50008	7	平成23～26年度	平成23年度
活性化計画の区域				
秋田スギ活用活性化計画の区域は秋田県全域で13市8町2村で構成されている。総面積1,105,200ha(DID地区、市街化区域、他の用途地域を除く)のうち農林地面積が962,532haと全体の87%を占めるため、農林業を中心とした農山村地域の活性化が必要である。				

1 事業活用活性化計画目標の達成状況

事業活用活性化計画目標	目標値A	実績値B	達成率(%) B/A	備考
地域産物の販売額の増加	18.17%	3.03%	16.7%	

(コメント)
<ul style="list-style-type: none"> <li>・県産製材品・集成材製品出荷額の増加率を目標としていたが、計画始期に東日本大震災が発生し、東北全域で生産活動が極端に鈍って木材需要も落ち込み、その後の期間においても、本県を含む日本海側では復興需要の波及が見られない中、目標の達成は困難であった。</li> <li>・なお、事業実施前に比べ出荷額自体は増加しており、未曾有の厳しい環境下、本事業が地域の林業・木材産業の下支えに果たした効果は大きい。</li> <li>・また、本目標に追加した雇用133名の増加については、実績555名、達成率463%となった。</li> </ul>

2 目標の達成のために実施した各事業の内容と効果

事業メニュー名	事業内容及び事業量		事業実施主体
農林水産物処理加工施設	集成材用ラミナ製材施設、木材乾燥施設6基、木くず焚きボイラー1式、ボイラー棟140㎡、チップサイロ棟216㎡、チップおが屑棟405㎡、チップパー上屋243㎡、その他付帯工事1式		秋田製材協同組合
管理主体	事業着工年度	事業竣工年度	供用開始日
-	平成23年度	平成23年度	平成24年3月20日
事業の効果			
東北最大級の大規模製材工場の整備により、年間10万m <sup>3</sup> を超える県産スギ原木の活用が図られ、本県の素材生産量は121万m <sup>3</sup> まで大幅に拡大した。製材品・集成材製品の出荷額も増加しており、林業、木材産業の発展を通して農山村地域の活性化に寄与している。			

### 3 総合評価

(コメント)

本事業は、全国一のスギ人工林資源を有効活用し地域活性化を図るべく、木材利用の入口となる製材工場を再編整備し、大規模製材拠点を創設したものである。

計画期間が東日本大震災の影響時期と重なり目標には及ばなかったものの、整備施設は県内製材向け原木の5分の1を消費し、素材生産量の大幅な拡大に寄与しており、資源の活用による地域活性化が図られている。

### 4 第三者の意見（秋田県木材産業協同組合連合会 専務理事 木村 充）

(コメント)

東日本大震災による需要の落ち込みに加え、被災各県などで地元材利用の機運が高まって秋田スギによる復興需要の取り込みも難しく、本事業の目標達成は極めて困難な環境であった。そうした中、整備された秋田製材協同組合の順調な稼働もあり、事業実施前に比べ本県の製材品・集成材製品出荷額が増加していることは評価できる。

本県の素材生産量は、平成26年に平成元年来となる120万 $m^3$ を超え、農山村地域の重要な資源である秋田スギの利用は拡大を続けている。年間10万 $m^3$ 規模を消費する秋田製材協同組合は、この資源循環においてすでに重要な位置を占めており、雇用の創出・確保による定住化の促進なども含め、今後ますます農山村地域の活性化に寄与することが期待される。

(参考様式4添付資料)事後評価報告書の達成率等算出根拠  
秋田県  
秋田スギ活用活性化計画

【県産製材品・集成材製材品の出荷額】

区分	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
	(単位:百万円)							
地域産物の販売額の増加	37,476	31,807	27,370	22,650	28,450	33,480	37,510	41,540
	事業実施前							
	計画期間							
	<b>140,980</b>							

実績数値

区分	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
地域産物の販売額の増加	37,476	31,807	27,370	22,650	30,899	32,147	29,795	30,078
	事業実施前							
	計画期間							
	<b>122,919</b>							

下表 I + II

① = 目標値A = (目標/現状) × 100 - 100(%) = **18.17** %

実績 (H22~H26) = 122,919  
② = 実績値B = (実績/現状) × 100 - 100(%) = **3.03** %

(計画期間の数値根拠)

I 製材製品(出荷額)	H22(実績値)						H23	H24	H25	H26
	A	10,595	12,020	12,163	12,971	15,536				
数量(千m3)	223	253	256	273	327	327	...	A × C		
C H22比増減率	-	13.5%	14.8%	22.4%	46.6%	46.6%	...	B × D		
II 集成材(出荷額)	H22(実績値)						H23	H24	H25	H26
A	19,431	18,878	19,984	16,824	14,542	184				
数量(千m3)	246	239	253	213	184	184	...			
D H22比増減率	-	△2.8%	2.8%	△13.4%	△25.2%	△25.2%	...			

(出所)製材製品(数量):農林水産省大臣官房統計部「木材需給報告書」、集成材(数量):県「木材需給動向観測調査」

【雇用者数】

①製材施設	27/3末	従業員数	78	継続雇用者	16	新規雇用者	133	名	
②林業従事者	期間計	H23	143	H24	149	H25	142	H26	121
			555						617
									463.9 %

(①+②)実績値  
達成率

(出所)製材施設:秋田製材協同組合、林業従事者:県「林業技能者等採用状況調査」